



あけましておめでとうございます。
今年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年もシゲさん手作りの門松が畑の入口に飾られました。
シゲさんの友達が作ってくれたウサギたち（バッジ）
も畑にやって来ましたよ。

お届けの野菜 ○ひとみ人参 ○ほうれん草 ○里芋 ○白菜 ○かぶ

○ なばな（ゆでてごま油とポン酢で食べるとおいしいです。）

*お年賀の紅芯大根は甘味があります。サラダや浅漬けなどでどうぞ。

簡単レシピ 味噌けんちん汁＜材料4人分＞里芋一口大に切る2個、人参5ミリ厚さのイチョウ切り1/3本、ごぼう太さを半分に切り、斜めに薄切り40g、ミニこんにゃく一口大にちぎる65g、サラダ油大さじ1/2、木綿豆腐水切りする100g、みそ大さじ2、お好みで小ねぎ少々、**A**だし汁3カップ、**A**酒1/4カップ＜作り方＞①鍋に油を中火で熱し、里芋、人参、ごぼう、こんにゃくを入れて炒める。②全体に油がまわったら**A**を加え、煮立ったらアクを取る。弱火にして蓋をし、10分煮る。豆腐を手で一口大に崩しながら入れ、みそを加え、さらに弱火で3分煮る。③②をお碗に盛り、お好みで小ねぎを散らす。
(おかずのヒントより)

作業日誌 レタス・サニーレタスの種まき、玉葱の通路に黒マルチを敷く（除草と玉葱のマルチを留めるために。）スナップえんどうの防寒対策でワリフをかける、出荷作業等。

読んで 観て 聴いて！ （1月）

今年から月の第2週に鎌ケ谷市在住で畑のお手伝いをしてくださっている箭田川さんに本や映画やコンサート等の話題を書いていただくことになりました。どうぞお楽しみに。

小説「ある男」（平野啓一郎）と映画「ある男」（石川慶監督）

里枝は、次男を亡くし、離婚して実家に戻り、その後大祐と結婚し女の子が生まれ、幸せな家庭を築いていたが、大祐が突然事故で亡くなる。しかし、大祐は大祐ではなかった。別人だったという事実が発覚する。大祐の生き方を探るなかで、過去を変えて生きる男たちの姿が浮かび上がる。結局、大祐と名乗る男は殺人犯の息子で、その苦悩から逃れるために、本名原誠から、曾根崎、谷田大祐と2度戸籍を交換していたのだった。この複雑な関係を活字で理解するのは難しかったので、映画化を心待ちにしていた。

概略が解っていたことと、俳優たちの優れた演技で、ストーリーが手にとるように理解できた。以前「罪の声」（塩田武士）もそうだった。本で満足すると、映画で失望するかもしれないと観る意欲が失せる。映画で感動すると、それ以上を期待しないので本は読まない。でも、たまにはこんな二刀流もいいなあ。本と映画。幸せ感が2倍以上になりそうです。

